

第1回いわき地域産業6次化ネットワークを開催しました。 (H22.6.28)

6月28日(月)、県いわき合同庁舎において、いわき地域産業6次化運営会議(事務局:いわき農林事務所・いわき地方振興局・水産事務所)の主催により「第1回いわき地域産業6次化ネットワーク」を開催しました。

このネットワークは、いわき地方の温暖な気候、潮目の海、豊富な森林資源などから生み出される豊かな農林水産物を基盤として、農・商・工が連携・融合することにより、新たな地域産業の創出を図る「地域産業6次化」を促進することが目的です。

当日は、農業関係者や商工業関係者、研究機関関係者など、約100名の参加があり、地域産業6次化への関心の高さをうかがわせました。

今回は、第1回目として、二瓶いわき地方振興局長の挨拶に続いて、茨城大学農学部塩光輝教授が「農業の6次産業化を考える」をテーマに講演を行い、引き続き、地域産業6次化の先進的な事例について、タムラ電子(株)(くんせいたまご)、リプロ内郷企業組合(いろいろ米)、(株)いわきチョコレート

ト(紅玉林檜チョコ)の代表者が報告を行いました。

その後、高梨いわき農林事務所長を座長として、参加者による情報交換会を行い、地域産業6次化に当たってのきっかけや課題解決に向けての方策について、活発な意見が交わされ、参加者は、地域産業6次化への理解を深めていたようです。

いわき地域産業6次化運営会議では、今後2回のネットワーク及び先進事例の現地視察を計画しているほか、随時ネットワーク会員を募集しています。

皆様方の積極的な参加をお待ちしています。



(茨城大学農学部 塩教授の講演)

第2回6次化ネットワークを
開催しました。

(H22. 10. 26)

10月26日(火)、県いわき
合同庁舎において、いわき地域産
業6次化運営会議(事務局:いわ
き農林事務所・いわき地方振興局
・水産事務所)の主催により
「第2回いわき地域産業6次化ネ
ットワーク」を開催しました。

このネットワークは、いわき地
方の温暖な気候、潮目の海、豊富
な森林資源などから生み出される
豊かな農林水基盤として、農・商
・工が連携・融合することによ
り、新たな地域産業の創出を図る
「地域産業6次化」を促進するこ
とが目的です。

第2回目となる今回は、高梨い
わき農林事務所長の挨拶に続く
て、交流会と様々な相談に対応す
る個別相談会を行いました。農
林漁業関係者や商工業関係者など
多数の参加があり、地域産業6次
化への関心の高さをうかがわせま
した。

交流会では、「加工・商品開発」
と「マーケティング・ブランド化」
の二つのテーマを設け、まず、「加
工・商品開発」について県立磐城
農業高等学校食品流通科 坂井
聖治科長と県産品加工支援セン
ター 高野 剛主任研究員、次に

「マーケティング・ブランド化」
については、古滝屋 鴻野 春典
部長と県農産物安全流通課 佐藤
周主任主査が事例発表を行いました。
引き続き発表された事例を
基に茨城大学農学部 塩 光輝教
授を座長として意見交換を行いま
した。参加者からは様々な質問や
意見が出され、活発な意見交換が
行われました。

交流会後の個別相談会では、相
談を希望された方に対して、「6
次産業化アドバイスチーム」が丁
寧に相談に応じていました。



(第2回6次化ネットワーク 交流会)

6次化ネットワーク先進地
視察を開催しました。

(H22. 11. 29)

11月29日(月)、いわき地域産業6次化運営会議(事務局：いわき地方振興局・いわき農林事務所・水産事務所)の主催による「いわき地域産業6次化ネットワーク先進地視察」を開催しました。

この先進地視察は、「地域産業6次化」を推進するため、新たな商品開発の参考とするとともに、ネットワーク会員の親睦を深め、会員間の連携を促進することを目的としています。

視察には、「地域産業6次化」に意欲的な農林漁業関係者や商工業関係者など36名が参加しました。

はじめに、会津若松市の福島県県産品加工支援センターを視察し、センターの地域産業6次化に対する支援体制について説明を受けた後、センター内の施設を見学しました。

参加者は、職員の説明に熱心に聞き入り、センターの商品開発に対する支援内容や、設備等について積極的に質問していました。

次に、喜多方市の(有)峰の雪酒造場で、農商工連携により開発されたミード酒(蜂蜜酒)について、開発から販売に至るまでの経緯や

現在の販売状況、今後の展開予定について、説明を受けました。

参加者は、ミード酒を試飲し、とろけるようなおいしさを味わいながら、熱心に説明を聞くとともに、開発・製造・販売に関して、数多くの質疑応答が行われ、商品開発の意欲を高めていました。

最後に、郡山市の県中地方農産物加工アンテナショップ「逸品市場」を視察し、佐藤店長から店舗内の状況や県中地域の地域産業6次化の状況について説明を受けました。

帰りのバスの中では、「大変、有意義な視察だった。」「とても参考になった。」などの声が多く聞かれ、参加者相互の親睦も大きく深まったようです。



(有)峰の雪酒造場での説明)

第3回「いわき地域産業6次化ネットワーク」開催（平成23年3月3日）

いわき地域産業6次化ネットワーク

3月3日（木）にいわき地域産業6次化運営会議（事務局：いわき農林事務所・いわき地方振興局・水産事務所）の主催により、第3回「いわき地域産業6次化ネットワーク」を県いわき合同庁舎4階大会議室で開催しました。

現在までの6次化商品の開発状況や、具体的な食材の「米粉」をテーマにした研修会を通じ、より具体的な6次化商品開発の方法や知識を提供し、商品開発に結びつけることが目的です。

まず、事務局から「いわき地域における6次化商品の開発状況について」説明し、次に「米粉研修会」を行いました。米粉研修会では、茨城大学農学部 塩 光輝教授による「米粉を取り巻く状況について」と題した講義や、県産品加工支援センター高野剛主任研究員による米粉の加工技術説明、JAいわき市等による商品開発説明などが行われました。

米粉を使った商品の試食も行われ、参加者は、米粉を使った商品のおいしさを実感していました。



茨城大学農学部 塩 光輝教授による講義



米粉を使った商品の試食の様子